



■大谷場庚申塔



■広ヶ谷戸庚申塔



■二十三夜供養塔



■大谷口氷川神社

杉やヒノキに囲まれた社殿には、素戔鳴（スサノオ）尊が祀られており、大谷口・中尾・広ヶ谷戸・道祖土・柳崎の五村を鎮守しています。神殿入口には身構えた格好の狛犬が鎮守しています。

MAP E-2



■根岸神明神社

本殿は一間社流造で、江戸時代後期の建物です。また隣にある稲荷神社は丸柱を用いた見世棚造でいずれも見応えがあります。また境内は樹木により鎮守の森が形成されています。

MAP C-3



■睦神社社叢（むつみじんじやしやそう）

市指定天然記念物の睦神社社叢は、大宮台地の南縁の舌状台地上にあります。境内には、高木ではケヤキ・スダジイ・クヌギ・アカシデ・シラカシなど、低木ではアオキ・シュロなど、林床ではピナンカズラなど、暖地性植物が生育しています。

MAP C-3



■文蔵神明社

本殿は江戸時代の神明造りとされており、境内には、稲荷神社、白山神社、御嶽神社、不動尊、大山阿夫理標石などがあります。また、樹齢440年のカヤの木は見応えがあります。

MAP D-4



■太田窪氷川神社

江戸時代初期の建立と推定され、市指定有形文化財（建造物）の太田窪氷川神社があります。また、敷地内には遊具が設置された児童遊園があり、子どもの遊び場として利用されています。

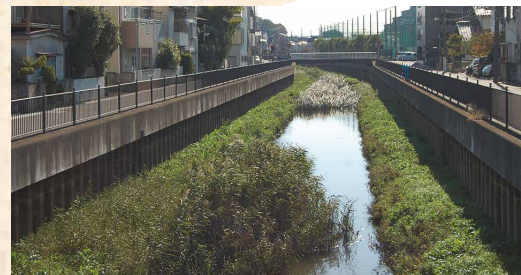
MAP E-3



■大谷場氷川神社

覆屋（おおいや）内の本殿は、市指定有形文化財（建造物）で、寛文6年（1666年）の棟札（むねふだ）があるとの記録があります。また、境内入口にはキジの石造のほか、市指定天然記念物の大きなユリノキがあります。

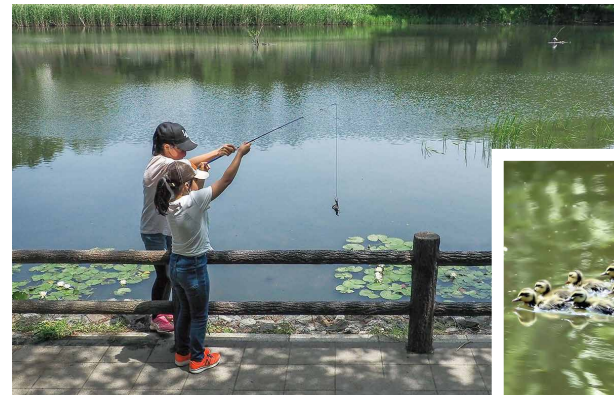
MAP D-3



■藤右衛門川

さいたま市と川口市を流れる一級河川で「谷田川」とも呼ばれます。江戸時代に周辺の水路開削工事を行った「並木藤右衛門」にちなんで名付けられたのが由来とされています。

MAP D-2



■白幡沼／白幡緑道

白幡沼は、台地からの湧水を利用した水田灌漑用の溜池として作られたと考えられています。沼の北側にヨシが繁茂し、ヌマエビやフナのほか、カイツブリやカルガモなども見られ、年間を通じて、すべての生きものの憩いの場となっています。

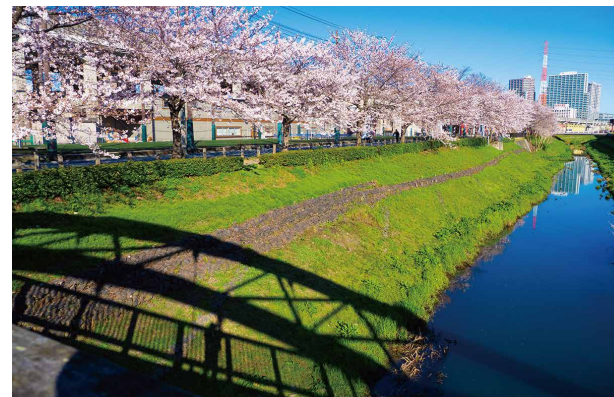
MAP C-3



■笹目川

白幡沼を水源とする、南区から戸田市を流れる一級河川です。市民の清掃活動などにより水質が徐々に改善され、コイやフナ、エビなどのほか、カルガモやカワセミなども見られます。

MAP C-4



東部エリア



中浦和駅

武蔵浦和駅

南浦和駅

自然・歴史・文化に触れる南区を親しむ

南区には様々な歴史を物語る文化や自然があり、これらは郷土の先人たちが後世に残してくれた、いずれも時空を超えたかけがえのない宝物といえるものです。

歴史や文化に触れ親しんでみませんか

通りすがりに、神社やお寺にふと目を向け、その「いにしえ」を想うことも視野を広げる機会（チャンス）です。地域周辺の自然・歴史に関心を持つのも、身近な再発見になることでしょう。

南区自治会連合会 副会長 野口 松一さん



カメラ片手に新しい魅力を探してみませんか

南区には大小合わせて100以上の公園と、50近い神社とお寺があります。別所沼公園では、カルガモなどの20種以上の水鳥が季節ごとに見られ、彩湖公園では、都会とは思えない素晴らしい夕焼けや富士山が望めます。また笹目川は鳥達のオアシスとしてシラサギや水辺の宝石カワセミが飛来します。カメラを片手に南区を歩くと、新しい風景や新たな感動を発見でき、その美しさを写真に残せます。ぜひ皆さんもあなただけの南区を発見してみてください。

フォトネットみなみ 事務局長 矢沼 克則さん

